

瀋陽駐在員事務所

「代客掃墓」(墓参り代行)

今年の清明節は4月4日(毎年4月5日前後)でした。清明節とはお墓参りをし、ご先祖様を供養する中国の伝統的な風習です。本来は、各地から人々が故郷に戻り、お墓の前で香を焚き、故人を偲ぶ日ですが、時代と共に変化を見せています。仕事や生活スタイルの多様化により、清明節のお墓参りを簡単に出来なくなる人が増えています。今年は3連休でしたが、故郷から遠く離れている人にとってはやはり、この時期に帰省するのは難しいです。

こうした背景から、スマホ関連機能の発達により、「代客掃墓」(墓参り代行)という新しいビジネスが生まれました。これは、お金を振り込むと、顧客の要望に合わせ「代跪」(代わりにひざまずく)、「代哭」(代わりに泣く)、「代献花」(代わりに献花する)等のサービスを行うもので、メニューには「普通」、「ゴールド」、「ダイヤモンド」といったランクがあり、最高額は1,000元(約1万6000円)を超えるものもあります。また、墓参りの全過程の写真や動画を証拠として依頼主に提供します。こうしたサービスに対し、中国では批判の声が上がりました。

清明節にお墓参りをするのは、あくまでも先祖に対する感謝や敬意を表す形式の一つです。依頼主と代行業者の間にあるのはビジネス上の関係だけであり、先祖の供養を他人に任せるのはさすがに気が引けるようで、実際の契約件数は少ないそうです。墓参り代行のビジネスは広く受け入れられないのかもしれない。

張 璐



ネットショップで販売されている「代客掃墓」サービス

ユジノサハリンスク駐在員事務所

【青空市場シーズン開始～断食の終わり】

昨年9月、ロシア極東最大級の大聖堂がユジノサハリンスクに建てられたことをご紹介いたしました。4月15日(土)と16日(日)、大聖堂のすぐ近くで青空市場がオープンしました。肉、牛乳や乳製品、野菜、魚介類、パン等がお手ごろ価格で販売されており、サハリン州政府のコジェマコ知事も視察され、賞賛されていました。仲介マージンなしで生産者から直接購入できるこの仕組みを地域住民のために継続したい意向のようです。



市場の行列

16日(日)はロシア正教会のパスハ(復活大祭)の日でもありました。ロシア正教の暦には年4回の齋期(=食事を節制する時期)があり、最も盛大なのがヴェリーキー・ポスト(大齋期)で、マースレニツァ(謝肉祭)からパスハ(復活大祭)まで7週間続くそうです。期間中は、食卓から肉と乳製品が消え、小麦、野菜、果物を使った料理のみになります。大齋期の最終週はもっと厳しく、月曜から水曜までは油を使わない生食のみ、木曜すなわち最後の晩餐の日は、油とワインを使った茹で料理のみ、金曜日は断食、そして復活祭前の土曜は油を使わない茹で料理となります。復活祭は大齋期の終わりを意味するそうです。ロシアには全ての規則を守る敬けんな信者もいれば、ダイエット目的で齋戒をする人、実験的にチャレンジする人、皆に習い何となく参加する人がいるようです。



4月19日の朝

このことを後で知り「来年は挑戦してみるか」と嘯^{うそぶ}いていたら、翌日大吹雪となりました。

達田 暢

ウラジオストク駐在員事務所

ウラジオストク市内のホステルについて

ここ数年、沿海地方、特にその州都ウラジオストクを訪れるロシア国内外の観光客数が増えています。地元の統計局によると、2015年の実績は約300万人で、ビザ発給条件の緩和やイベント観光の発展による更なる増加が予測されており、観光インフラの整備が求められています。ウラジオストクではホテル等の不足が指摘されていますが、季節性に起因する観光需要変動や地元経済の先行き不透明感への懸念から現地への進出をためらう大手ホテルチェーンも少なくありません。



そこで、最近注目を集めているのがホステルです。ホステルとは、マンションや低層住宅に入居するミニホテルです。大半のホステルは低・中所得層の観光客に向けていますが、最近、高所得層の観光客をターゲットとしたホステルも現れつつあります。ホステルの部屋は原則としてシェアルームで、一人部屋もありますが、4人部屋や8人部屋が一般的です。また、共用トイレや共用キッチン等の共用スペースが広く、一部のホステルでは共用ラウンジで行われる様々な講習会やイベントも用意されています。



ホステルは整備費が最小限に抑えられているため、ホテル特有のサービスを利用できませんが、新しい宿泊体験を楽しみたい観光客にとっては最適の選択肢になるはずです。

イワン・モズゴヴォイ

北陸銀行バンコク駐在員事務所

タイの人気番組「THE MASK SINGER」

芸能人カラオケ対決はよく日本のテレビで目にします。実はこの手の番組が今タイで大ヒットしているのです。今回は昨年10月に開始されて以来、タイで「久々の大ヒット番組」と言われている番組「THE MASK SINGER」を紹介いたします。



番組では対戦形式で派手な変装をした覆面の歌手同士がカラオケを歌い、歌の上手さで対決をします。覆面のまま爆笑インタビューが繰り広げられた後、敗者は正体をばらすのですが、予想外の人物に皆が歓喜の声をあげる瞬間が一番の盛り上がる場所です。シーズン1の現在は32人の覆面の歌手がトーナメント形式で対戦中です。番組の重要なポイントは、参加する芸能人はテレビ局と秘密保持契約を結んでおり、家族にすら負けるまで正体を明かせない所です。20代～30代の男女が主な視聴層となっている様で、当事務所でも一体マスクの正体は誰なのかとスタッフの間で毎週話題になっています。番組はFacebookで生中継される他、テレビで放送後にYouTubeの公式ページにも番組がアップロードされるのですが、再生数はあっという間に数百万～数千万回に達します。



「THE MASK SINGER」
(YouTube公式ページより)

見どころのひとつとしてド派手な変装があります。番組中になぜその変装を選んだのかがインタビューされるのですが、これが本人を特定するヒントにもなっている様です。お時間のある方はYouTubeで「THE MASK SINGER」と検索してみてくださいはいかがでしょうか。

吉田 雄司

北海道 ASEAN 事務所（シンガポール）

リトル北海道の開店

シンガポールの観光地の1つ、セントーサ島に今月、リトル北海道という飲食ブースが開店しました。セントーサ島はシンガポールの南側に位置する島で、島全体がテーマパークになっています。大型カジノや水族館、ユニバーサルスタジオシンガポールがあり、世界中から観光客が訪れます。その一角で北海道食材を使った北海道企業による飲食ブースができたことは、より北海道を知ってもらう良い機会だと思います。

こちらで提供しているメニューには定番のソフトクリームやビールに加えて、スープカレーやチーズケーキまであります！これは私のように現地駐在する者にはとてもうれしい事です。

今回の取組は北海道食材を北海道から輸出することにも繋がり、今後さらに多くの企業が進出する足がかりになることが期待されます。すでに多くの企業が ASEAN 諸国に進出していますが、将来的には北海道からシンガポールへの一方的な流れでは無く、例えばリトルシンガポールが札幌市内にできるような相互交流につなげていければ、もっと北海道内でもシンガポールや ASEAN 諸国が身近に感じられるのではないかと思います。



リトル北海道店舗



リトル北海道店舗

佐伯 亜耶